

(別添4)

## 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

(令和7年2月18日記載)

時が経てば人も保育も変わります。  
第三者評価の受審は変化に取り残されていないか、自分たちの保育は改善され、よりよいものになっているかを定期的に確認するための振り返りの場としてとらえています。  
一定の評価はいただいているものの、他者の視点で何を改善し、どう取り組んでいくか考える良い機会となりました。  
今回の評価結果については特に良いと思う点を挙げていただき、おおむね良い評価を得られたと考えています。これは職員全員がやるべきことを愚直に取り組んできた結果であると共に、鉄道弘済会の法人中期経営計画「利用者に一人ひとりに寄り添い信頼される質の高い福祉サービスの提供」を柱に進めてきたことに大きく関わっていると考えます。  
さらに保育の変化を柔軟に対応すると共に、改善する必要があると思う点については、真摯に受け止め、改善を進めて参ります。  
今後も、保育理念の実現に向け、子どもの主体性や自主性を尊重する保育、地域において多様化するニーズを把握し、地域と共生する園づくりに取り組みます。  
引き続き、第三者評価の受審を一つの契機として、新たな気づきを得るためにも、継続して受審していきたいと考えています。

- \* 公表の同意をした場合は、評価機関に、電磁的に作成し電磁的に保存した媒体及び当該媒体を出力した書面（署名及び押印をすること。）を提出すること。
- \* 評価機関は、福祉サービス事業者から提出のあった当該書面を県へ提出すること。

長野保育所

園長 霜鳥喜代美

